

核兵器のない公正な世界の実現を！

東京原水協署名推進ニュース No.1

2019年5月17日 発行
原水爆禁止東京協議会
TEL 03-5395-4222
Fax 03-5395-4220

ヒバクシャ国際署名941万を超える！

核兵器禁止条約の署名、批准を求める自治体は377自治体に

国連本部での核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けた準備委員会が開催され、それに合わせたアメリカや日本、ヨーロッパなどの各国の平和反核団体による国際会議が開かれました。その中で、来年2020年、被爆75年目にあたって、毎年広島・長崎で行われてきた「原水爆禁止世界大会」をニューヨークでも開くことが提案されました。主催国のアメリカでは、来年の再検討会議に合わせた日程で会場の準備もしているとか。平和・軍縮・共通安全保障キャンペーンのジョセフ・ガーソン議長をはじめ、各国の参加者の核兵器禁止への熱い思いが伝わってくるニュースでした。

5月6日夢の島を出発した国民平和大行進には約700人が参加しました。「核兵器をなくそう」「ノーモアヒロシマ・ノーモアナガサキ・ノーモアヒバクシャ」「日本政府は禁止条約に調印を」などと青空の下ピースコールを元気に行いました。小さな子どもと一緒に参加したお父さんやお母さんもいました。子どもたちのかわいい声に励まされた行進でした。一足先に北海道から出発した江戸川原水協の丸さんも元気に歩いているとの報告がありました。一日目の締めくくりとして、芝公園の近くの店で、東京の通し行進者の山口さんと小林さんの激励会を兼ねた懇親会を開き22人が参加しました。

2017年から取り組み始めた「ヒバクシャ国際署名」は、941万5025人分国連本部で開かれた核不拡散条約（NPT）再検討会議の議長へ提出されました。東京の到達点（2019/5/17）は地域/団体の報告分を合わせ594,669人です。今年になってからまだ一度も署名報告のない地区/団体は報告をお願いします。2020年4月のNPTまで1年切りました。東京の目標100万めざして頑張りましょう。

中野原水協の金子事務局長からも毎月報告をいただいています。5月9日、中野駅北口での宣伝行動には、原水協から2人、民医連2人、新婦人6人の参加で、署名34筆、安倍9条改憲NO! 20筆、カンパ1000円とお菓子の差し入れがあったそうです。今回、大妻女子学生がグループで署名してくれたとか。若い人が関心をもって行動を起こしてくれたこと、うれしいですね。6月12日には、新区議会議員に署名の依頼に行くとのこと。



＜中野駅
での
宣伝＞

大田区は署名推進大田連絡会を結成し、活動していますが、毎月「ヒバクシャ国際署名推進ニュース」を発行し、東京原水協にも送っていただいています。5月7日発行（No.2）から、ちょっとだけ（文章の一部）紹介します。4月29日（祭日）蒲田駅西口の宣伝行動は11名が参加し、「ヒバクシャ国際署名」は21筆、安倍改憲ノーの署名は12筆寄せられ、募金は1530円寄せられました。初めに、本間憲史氏（大田原水協事務局長）の挨拶が行われ宣伝行動に入りました。以下訴えを紹介します。・・・色部祐氏（城南保険生協副理事長）、杉山公一（日本共産党区議会議員）、剣持照美さん（新日本の会・大田支部）と3人の訴えが、一部分省略もされていますが紹介されました。最後に次回の宣伝行動日の予定を載せ、大勢の参加を呼びかけています。宣伝活動の様子の写真もいっぱい掲載してあったので、紹介します。大田区での署名の到達数は38245筆です。